

沖縄総合事務局開発建設部事業評価監視委員会議事要旨（平成15年度第1回）

1. 開催日時：平成15年7月23日（水） 10:00～11:45

2. 場 所：沖縄総合事務局 4F 特別会議室

3. 出席者：○委員 上原方成 上原地盤工学研究所主宰
津嘉山正光 琉球大学工学部教授
仲里全輝 沖縄県商工会議所連合会常任理事
野崎四郎 沖縄国際大学商経学部教授

○総合事務局 山口次長、溝内部長ほか

4. 事務局報告

沖縄総合事務局開発建設部事業評価監視委員会規則及び運営要領の改定について

5. 事業評価監視監視委員会審議

○沖縄東部河川総合開発事業（億首ダム）に係る事業再評価審議結果

・対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。
（委員からの主な意見）
事業の進捗を図られたい。

（審議内容）

（委員） 洪水調節に係わる便益の可住評価と、赤土砂流出防止に係わる便益の考え方について説明してほしい。

（事務局） 可住評価については、治水対策が進むと、河川氾濫区域内における住宅建設が進むという想定のもとに評価。その地域の住宅建設状況に応じて、どれだけの住宅が建築可能か検討し便益を算定。

（事務局） 赤土砂流出防止に係わる便益の考え方については、ダムによる赤土砂流出防止効果を便益として考え、赤土砂防止のために貯留ダムを建設するために要する費用を便益とし計上。

（委員） 生物への想定被害額等を算定しないのか。

（事務局） 貨幣価値に換算するのが困難なため、流水の正常な機能の維持に係る便益として計上。

（委員） CSGダムのメリットについて説明してほしい。

（事務局） セメントで固めた砂礫という意味。

メリットは、従来残土処分していた低品質な材料が使えるため、コスト縮減が図られるとともに、残土が少なくなり環境保全の面からも良い。

仮締め切り等に使用した実績はあるが、本ダムに使うのは世界で初めて。

国土交通省の認可は得ている。(特殊な構造で、国土交通大臣が河川管理施設等構造令の規程によるものと同等以上の効力があると認めたもの)

(委員) 水密性は問題ないか。

(事務局) 表面に保護用コンクリートとして、水密性の高いコンクリートを使用するため問題ない。

(委員) どのような条件において適用されるのか。

(事務局) コンクリートダム基礎地盤より悪く、フィルダムの基礎地盤よりは良い条件で適用。

(委員) 億首ダムのB/Cが1.3と低いが、事業を実施するには1.5以上必要では。

(事務局) B/Cは一つの評価項目であり、1.0以上あれば事業としての投資効果はある。

1.5以上必要という規程はない。

(委員) 県、町との覚え書きは

(事務局) 地元からの要望事項については、県、町と調整中。

(委員) 事業の進捗をお願いしたい。

○沖縄北西部河川総合開発事業(大保ダム、奥間ダム、比地ダム)に係る事業再評価審議結果

・対応方針(原案)に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。

(委員からの主な意見)

奥間ダム、比地ダムについては、環境面、水需要面、治水面から検討が必要。

(審議内容)

(委員) 奥間、比地ダムの水需給計画からの必要性は。

(事務局) H32年頃までは人口増加等により水需要が伸びていくため、奥間ダム、比地ダムについて必要と判断。

(委員) 地元も環境面等で建設を懸念しているのでは。

(事務局) 広く意見を聞いて、H17策定予定の河川整備基本方針、整備計画に位置づけをしたい。

なお、河川整備計画策定前に、用地買収や工事に着手することはない。

(委員) 継続として、環境面、水需要面、治水面から検討を行うものとし、県、地元と調整を図り、河川整備基本方針、整備計画を策定すること。

○座津武ダム実施計画調査に係る事業再評価審議結果

- ・ 対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業中止」で了承された。
（委員からの主な意見）
意見は特になし。

（審議内容）

（委員） 利水の事業参画が見込めないということであれば、中止も止む得ない。
県企業局との調整状況はどうなっているのか。

（事務局） 沖縄県の長期水需給計画の公表が、今回の委員会に間に合わなかったため、
沖縄県及び企業局に文書で事業参画について照会した結果、参画しない旨
回答を得ている。
ただし、利水上の必要性から中止になっても、治水上の必要性は残るため、
河川整備基本方針及び河川整備計画に反映していきたい。

（委員） ここ最近の異常気象が続いており、そこを考慮した利水計画の見直しが今後
必要では。

（事務局） 現在の利水安全度は、10年に1度の渇水に対応すべく計画。
異常気象が続いており、今後、安全度を上げる等して、引続き検討を行う。